

モンテネグロ (1981)

MONTENEGRO: OR PIGS AND PEARLS

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イギリス/スウェーデン

色彩 Color

時間 96分

初公開日 1989/04/15

公開情報 コムストック

【解説】

マカヴェイエフが「スウィート・ムービー」以来7年ぶりに発表した作品、となれば非常に期待を持たせるが、これははっきり言って、焦点の定まらぬ失敗作だった。77年から1年間、ハーバート大学で教鞭を執っていたマカヴェイエフが、スウェーデン人の友人で製作者ヨンソンの“大衆受けする過度のエロティシズムのあるハイ・クオリティ・コメディを”との依頼を受けての企画だが、彼ほど“過度”などという言葉が似つかわしくない作家もいないのに、それは的を外れた注文だった。米国生まれのマリリンは、ストックホルム郊外の屋敷で夫と二人の子供、84歳にして旺盛な叔父ビルと、何不自由ない生活を送っていたが、退屈の余り近ごろ奇妙な行動が目だった。夫が相談した精神科医もかなりの奇人だが、まずビルを診る方が先決だと言う。彼はせっせと花嫁募集の告知を新聞に出し、そのオーディションを、マリリンが家を開けた際に開催。彼女は夫のブラジル出張に同行しようと思い立ち空港へ向かったのだが、不審に思われ、税関の身体検査を受ける。結局、夫はその騒動で旅立たず、マリリンと一緒に尋問されたユーゴ移民の少女ティルケの連れのバーの経営者アレックスに家まで送ってもらうことにしたが、その車には更に動物園飼育係のモンテネグロや、夫婦喧嘩で額にナイフを突き刺されたアレックスの弟が乗り込んで、彼らは一緒に新年を祝うパーティを開くことに……。ここからの乱痴気までも妙に小市民的で想像の飛躍がないのが問題。ただ、妻がバカ騒ぎの解放に浸っている間に、夫は彼同様、髭もじゃのオジンの精神科医と怪しい関係になっていたーなどという描写は笑える。

【クレジット】

監督	ドゥシャン・マカヴェイエフ	Dusan Makavejev
製作	ボー・ヨンソン	
脚本	ドゥシャン・マカヴェイエフ	Dusan Makavejev
撮影	トミスラフ・ピンター	Tomislav Pinter
音楽	コーネル・コヴァック	Kornell Kovach
主題歌	マリアンヌ・フェイスフル	Marianne Faithfull
出演	スヴェトザル・ツヴェトコヴィッチ	Svetozar Cvetkovic
	スーザン・アンスパッチ	Susan Anspach
	エルランド・ヨセフソン	Erland Josephson